

障害のある人もない人も、
多様性や共生社会についてともに考える 18 日間

2022 年度

「CONNECT⇔ ～アートで ころを こねこねしよう～」

開催



京都国立近代美術館ほか、岡崎公園内の7つの文化施設で
障害のある人もない人も楽しめる展示や体験を。

文化庁・京都国立近代美術館では、アートを通して、多様性や共生社会のありかたについて、障害のある方もない方も共に考え、語り合い、実践するプロジェクト「CONNECT⇔（コネクト）～アートで ころを こねこねしよう～」を、2022年12月1日（木）から18日（日）までの期間に開催します。

3回目となる2022年度のテーマは「アートで ころを こねこねしよう」。障害者週間（12月3日～9日）を含む18日間、展示やワークショップ、連続トーク、上映会など、参加施設がさまざまなプログラムをご用意してお待ちしています。さらに、京都国立近代美術館等には交流・くつろぎスペース「こねこねの中庭」が登場。さまざまな表現や文化、歴史に触れたり、五感を使ってアートを感じたり、いろんな人と共に過ごしたりして心と心を〈こねこね〉してみませんか。

開催概要

会 期：2022年12月1日（木）～12月18日（日）

会 場：京都国立近代美術館、京都市京セラ美術館、京都府立図書館、ロームシアター京都、
京都市動物園、日図デザイン博物館（京都市勧業館みやこめっせ地下1階）、京都市美術館別館

入場料：無料

URL：<https://connect-art.jp/>

主 催：文化庁、京都国立近代美術館 / 共催：京都府、京都市、京都新聞

後 援：KBS 京都、エフエム京都

協 力：京都市京セラ美術館、京都府立図書館、ロームシアター京都、京都市動物園

特別協力：NHK 京都放送局

文化庁委託事業 令和4年度障害者等による文化芸術活動推進事業

プログラム概要

※ CONNECT2の各プログラム・イベントは障害の有無などに関わらず、どなたでもお申込み・ご参加いただけます。手話通訳や車いす席等をご希望の場合など、ご要望・ご相談事項は、事務局（P7 記載）までご連絡ください。

※ 「要事前申込」のプログラムは、11月中旬からCONNECT2のWEBサイト（<https://connect-art.jp/>）において募集を開始します。

CONNECT2 プログラム

めぐって楽しめる、複数施設をつなぐ周遊企画や、多彩なテーマの連続トーク。

こねこねの中庭

日程：会期中ずっと（月曜休館）

会場：京都国立近代美術館（1階ロビー、屋外エントランス前）、
ロームシアター京都（プロムナード「総合案内・チケットカウンター」横）

来場当日はまずここへ。各プログラムの情報や過去2年間のアーカイブ映像などのインフォメーションセンター、各施設をまわる合間に一息つける休憩所、「体験」的な活動ができるコーナー、と3つの機能を持つ、CONNECT2周遊の基点となる場所です。CONNECT2ガイドブックも配布しています。

空間デザイン：REUNION STUDIO / 協力：art space co-jin



共生・多様性・アクセシビリティについて考える連続トーク

日程：12月9日（金）、16日（金） **手話通訳** **日本語字幕（オンライン）**

会場：京都国立近代美術館 1階講堂

会場参加：各回定員50名（要事前申込）

オンライン：ライブ配信（申込不要。前日までにWEBサイトに配信URLを公開します）

CONNECT2各プログラムや関連イベントをより深く楽しみ、「共生」について考えるための連続トークイベントです。各プログラムのテーマ・内容に合わせて、専門家、障害当事者や関係者をゲストに迎えます。それぞれの立場からのお話を聞いて考えてみませんか。



2021年度CONNECT2アクセシビリティに関する研修会風景

- ①12月9日（金）11:00～12:00 「生まれてから死ぬまで動物の暮らしをサポートする」
出演：坂本英房（京都市動物園 園長）、朴鈴子（CONNECT2事務局）
- ②12月9日（金）14:00～15:30 「視覚障害者と鑑賞する方が絵はよく見える！は本当？」
出演：光島貴之（美術家）、山川秀樹（対話鑑賞ナビゲーター）、藤田龍平・富塚絵美（京都市京セラ美術館）
- ③12月16日（金）13:00～14:30 「芸術表現と障害、研究とキュレーションの現場から」
出演：服部正（甲南大学）、寺岡海（art space co-jin）、牧口千夏（京都国立近代美術館）
- ④12月16日（金）16:00～17:30 「舞台手話通訳のいま」
出演：廣川麻子（NPO法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク（TA-net）理事長）、
樋口ミュ（劇作家・演出家・Plant M主宰）、木原里佳（ロームシアター京都）

分身ロボット「OriHime」プログラム

日程：12月10日（土） ①10:00～、②13:30～
オンラインプログラム／各回定員若干名（要事前申込）

分身ロボット「OriHime」を使用して、参加施設の館内および周辺を、現地案内者とコミュニケーションを取りながら散策。障害のある方をはじめさまざまな事情・理由で現地に足を運ぶことができない人でも、文化施設にアクセスし、一緒に楽しむことができます。※身体的制約があるなど、さまざまな理由により外出することが難しい方を対象としたプログラムです。

協力：株式会社オリィ研究所



岡崎公園をめぐろう！ CONNECT⇄ スタンプラリー

日程：会期中ずっと（月曜休館）

会場：各参加施設（全7ヶ所）

数量限定／引換方法など詳細はWEB サイトへ

各参加施設に設置された、CONNECT⇄オリジナルスタンプを、「こねこねの中庭」で配布しているCONNECT⇄ガイドブックに集めて、京都国立近代美術館の「こねこねの中庭」で提示すると、記念品がもらえます。

協力：京都ほっとはあとセンター / デザイン：Neki inc.



参加施設プログラム

深めて楽しめる、各施設の持つ特徴を活かしたワークショップや展示。

京都国立近代美術館

「無視覚流」で楽しむ！京風まちあるき

日程：12月4日（日）①10:30～12:30 ②14:00～16:00

講師：河本あずみ・宮崎刀史紀（ロームシアター京都）、後藤結美子（京都市京セラ美術館）、仁科豪士・堀奈津子（京都府立図書館）、広瀬浩二郎（国立民族学博物館／ナビゲーター）、松山沙樹（京都国立近代美術館）

各回定員15名（事前申込制） ※荒天の場合は実施を取り止める場合がございます。

「無視覚流」を提唱する広瀬浩二郎さんとともに、視覚を使わずに岡崎エリアの文化やアートを全身で感じるまちあるきワークショップ。建築や彫刻を手でふれたり、琵琶湖疏水の音に耳を傾けたり、砂利を足で踏みしめたり、まちの匂いを嗅いだりすることで、岡崎エリアの知られざる魅力を探します。



筆談鑑賞会「かく？みる？つながる」

日程：12月18日（日）①11:00～12:30 ②14:30～16:00 **手話通訳**

ファシリテーター：小笠原新也（耳の間こえない鑑賞案内人）

各回定員8名（要事前申込）

声を使わずに「筆談」でアート鑑賞。作品を見て感じた印象や浮かんだ疑問を筆談で伝え合う、聞こえる人と聞こえない／聞こえにくい人が一緒に楽しめるプログラムです。



「手でふれてみる世界」上映会&トーク in 京都

日程：12月3日（土）14:00～16:00 **日本語字幕（上映会）** **手話通訳（トーク部分のみ）**

トーク出演：岡野晃子（「手でふれてみる世界」監督）

聞き手：広瀬浩二郎（国立民族学博物館）

定員50名（要事前申込）

オメロ触覚美術館（イタリア）のドキュメンタリーを見て、「さわる鑑賞」について考えます。監督・岡野晃子氏を迎え、ユニバーサル・ミュージアム（誰もが楽しめる博物館）の普及を行う広瀬浩二郎さんを聞き手に、トークも開催します。海外の事例を共有するとともに、視覚中心的世界観を変えるものとして「さわる鑑賞」が広まる意義について議論を深めます。

協力：ヴァンジ彫刻庭園美術館



『手でふれてみる世界』（2022 岡野晃子監督）

京都市京セラ美術館

映像展示「視覚に障害のある方との対話型美術鑑賞」

日程：会期中ずっと（月曜休館） **日本語字幕** **手話映像**

美術館のコレクションルーム冬期に展示する作品を、視覚に障害のある方と学芸員が対話しながら鑑賞する様子を撮影し、手話と字幕をつけた動画にして上映します。 ※会期終了後も美術館 Youtube チャンネルで公開予定です。その他、これまでに制作した手話・字幕付き動画も上映します。



京都市立図書館**読む 聞く 話す 本の色々なかたち**

日程：12月1日（木）～21日（水）（月曜休館） **日本語字幕（動画）** **手話映像（動画）**

電子書籍が広がるなか、文字の源流、本の来し方を振り返る、活字・タイプライター・明治期の資料などを展示。動画も2本ご覧いただけます。

ワークショップ「羊皮紙に書く！」

日程：12月4日（日）、11日（日）、18日（日）14:00～14:30

各回定員10名／先着順

羊皮紙に羽根ペンで参加者が好きな本のタイトル等を書くことができます。参加者の作品は館内に展示します。

**ワークショップ「はじめての朗読会」**

日程：12月17日（土）14:00～16:00

定員15名（要事前申込）

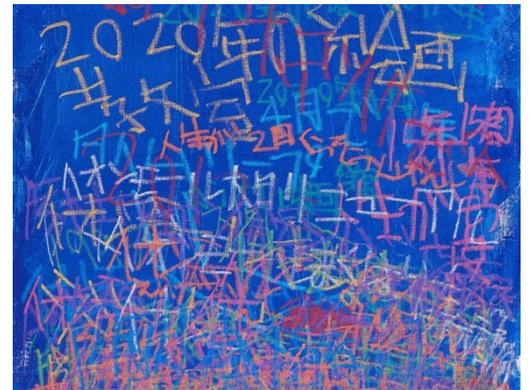
朗読会経験のある演劇関係者による朗読の実演と参加者の朗読体験。

障がい者アート展「想像する文字展」

日程：12月1日（木）～21日（水）（月曜休館）

意味内容とのつながりから解放された「無-意味」な文字を題材とした作品を展示。

主催：龍谷大学ユナスソーシャルビジネスリサーチセンター



アービカル☆早野紘平

ロームシアター京都**今村彩子監督作品「きこえなかったあの日」上映会&感想シェア**

日程：12月3日（土）17:00～20:00 **日本語字幕（上映会）** **手話通訳（感想シェアのみ）**

定員100名（要事前申込）※未就学児童入場不可

「きこえなかったあの日」（監督・撮影・編集＝今村彩子）は、熊本地震、西日本豪雨、新型コロナウイルスの流行といった困難の渦中にある耳のきこえない人たちの姿を記録しています。上映会後には当事者を交えて、さまざまな感想のシェアを行います。手話言語条例のお話も予定しています。



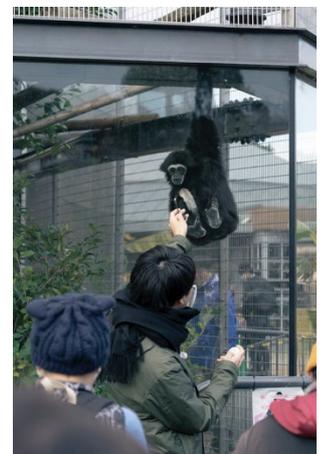
きこえなかったあの日

京都市動物園**ワークショップ「Ontennaで感じる、動物たちのこえ・いろ・かたち 2022」**

日程：12月3日（土）、4日（日）13:30～15:00 **手話通訳**

各回定員15名（要事前申込）

音の特徴を振動と光で感じることのできる機器「Ontenna」（オンテナ）を使い、動物たちの鳴き声を感じていただきます。Ontenna開発者の本多達也氏や、動物園長から動物たちの生態についてのお話を聞いた後は、園長と一緒に園内ツアーを行います。障害の有無にかかわらず、誰もが同じ体験を通して楽しむことのできるプログラムです。園内ではパネル展示も行います。



連携プログラム

障害のある方の表現や作品にふれる芸術祭。

第28回 京都とっておきの芸術祭

日程：12月1日（木）～4日（日） 10:00～17:00

会場：日図デザイン博物館（京都市勧業館みやこめっせ地下1階）

障害の有無にかかわらない交流の場として、府民の皆様に平成7年度から親しまれてきた公募展。「絵画」「陶芸」「写真」「書」「俳句」「川柳」「諸工芸」の7部門に府内在住の障害のある方が作品を出品し、出品のあった作品は全て会場で展示します。

主催：京都障害者芸術祭実行委員会



2022年度 共生の芸術祭「わたしはメモリー」

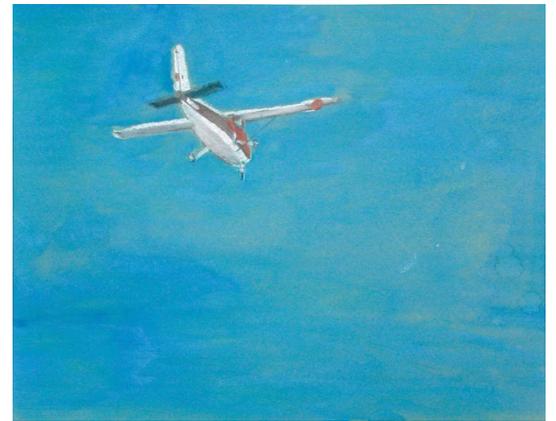
日程：12月15日（木）～25日（日）（月曜休館）

10:00～18:00（最終日は16:00まで）

会場：京都市美術館別館 1階 第1展示室

今年で9回目を迎える芸術祭。今年度は「記憶」をテーマに、京都府内外の障害のある方の表現を幅広いジャンルでご紹介します。作家の表現とその背景に着目し、作品そのものが持つ記憶とその保存について迫ります。2023年3月には市民交流プラザふくちやまにて巡回展を予定。

主催：きょうと障害者文化芸術推進機構



西澤彰「セスナ 172 型スカイホーク」
画像提供：もうひとつの美術館

今年は、東京の「DOMANI・明日展 2022-23」 @国立新美術館にも CONNECT します！

京都国立近代美術館で12月3日に上映する「手でふれてみる世界」（3ページ）について、文化庁主催の展覧会「DOMANI・明日展 2022-23 文化庁新進芸術家海外研修制度の作家たち」（会場：国立新美術館、東京・六本木）の関連事業として、12月4日に上映会&トークを催します。申込方法等の詳細は、以下WEBサイトをご覧ください。



ドキュメンタリー映画『手でふれてみる世界』上映会&トーク —DOMANI・明日展 第25回記念事業

日程：12月4日（日） 13:30～15:30

登壇（予定）：岡野晃子（「手でふれてみる世界」監督）、小野正嗣（小説家、早稲田大学教授）、北川太郎（彫刻家、DOMANI・明日展出品作家）

定員100名（要事前申込）

会場：国立新美術館 3階講堂

詳細：<https://domani-ten.com/2023/event.php>

主催：文化庁、国立新美術館

CONNECT2 プログラムスケジュール (会期：2022年12月1日～18日)

スケジュール表

2022年12月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
		(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	
① 京都国立近代美術館	こねこねの中庭	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	共生・多様性・アクセシビリティについて考える連続トーク									●							●			
	「手でふれてみる世界」上映会&トーク in 京都			●																
	「無視覚流」で楽しむ! 京風まちあるき				●															
	筆談鑑賞会「かくみろつながる」																			●
② 京都市京セラ美術館	映像展示「視覚に障害のある方との対話型美術鑑賞」	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	読む 聞く 話す 本の色々なかたち	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
③ 京都府立図書館	はじめての朗読会																		●	
	羊皮紙に書く!				●							●								●
	障がい者アート展「想像する文字展」	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
④ ロームシアター京都	こねこねの中庭	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	今村彩子監督作品「きこえなかったあの日」上映会&感想シェア			●																
⑤ 京都市動物園	Antennaで感じる、動物たちのこえ・いろ・かたち 2022			●	●															
⑥ 日図デザイン博物館	第28回 京都とおきの芸術祭	●	●	●	●															
⑦ 京都市美術館別館	2022年度 共生の芸術祭「わたしはメモリー」																			●
オンライン	分身ロボット「OriHime」プログラム										●									
① ~ ⑦	岡崎公園をめぐろう! CONNECT2 スタンプラリー	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

※すべて予定。日時等は変更になる場合があります。

■ 誰もが参加できるための取組について (CONNECT2 での合理的配慮の取組)

CONNECT2 では、どなたでも参加いただけるよう、できる限り、鑑賞や参加に対するサポートを行います。サポートを希望される場合や内容について知りたい場合は、事務局までお気軽にご相談ください。

■ 会場アクセスについて

CONNECT2 めぐりの基点となる京都国立近代美術館 (京都市左京区岡崎円勝寺町 26-1) へは、
京都市営地下鉄東西線

「東山」駅下車、1 番出口より徒歩約 10 分

京都市バス

「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ

「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車、徒歩約 5 分

「東山二条・岡崎公園口」下車、徒歩約 10 分

お問い合わせ 事業詳細及び広報用画像、取材依頼は事務局へお問い合わせください。

CONNECT2 事務局 (京都新聞 COM) 担当：滝山、田中 (受付時間：平日 10:00~17:00)

〒604-8567 京都市中京区烏丸通夷川上ル 京都新聞 COM 事業推進局開発推進部内

TEL: 075-255-9757 / FAX: 075-255-9763 / Mail: connect-art@mb.kyoto-np.co.jp

